

ミニレター

あぜみち通信

* * * * *

平成25年7月1日

151号

編集・発行：愛知県農業会議

市町村農業委員会会長・事務局長会議を開催しました

6月4日に名古屋市中区の「愛知県水産会館」において、市町村農業委員会会長・事務局長会議を開催しました。

開催に先立ち、豊田市の「なのはな農園株式会社」に第5回耕作放棄地発生防止・解消活動表彰事業の全国農業新聞賞の伝達を行いました。

なのはな農園株式会社は、耕作放棄地対策協議会と連携を取り毎年約5haの耕作放棄地を再生し、循環型農法により菜種を栽培するとともにオリジナルブランド「豊田・加茂の菜種油」や「なのはな醤油」の加工・販売を行い農業の付加価値化にも取り組んでいます。

協議報告事項として、最近の農業情勢と平成25年度全国農業委員会会長大会の政府、各党、関係国会議員等への要請結果報告及び、平成25年度農業会議が取り組みを推進する内容について説明しました。

また、「愛知県における人・農地プランの策定状況と施策について」、愛知県農業振興課福井主査及び農業経営課島岡主任主査より説明があり、質疑応答後会議を終了しました。

会議の感想を聞いたところ、大多数が「国の動向が分かって良かった。」「大変参考となった。」の意見でした。

常任会議員会議（6月）の審議状況について

6月18日に愛知県白壁庁舎において、農地法等に係る愛知県知事等からの諮問に対する答申を審議する常任会議員会議を開催しました。

6月の諮問は、農地法第4条に基づく転用事案25件(平成24年6月21件)、7,669㎡(同6,146㎡)、同法5条に基づく転用事案207件(同180件)、128,510㎡(同125,028㎡)についてそれぞれ審議し、いずれも原案どおりで差し支えない旨承認されました。

また、土地区画整理法第136条に基づく土地区画整理事業2件、施行面積80,063㎡(関係農地面積62,596㎡)について審議し、諮問のとおり事業計画を進めることは差し支えない旨答申することで承認されました。

愛知県農業協同組合中央会始め各農協関係団体の通常総会が開催されました

6月28日に名古屋市中区の「J A あいちビル」において、愛知県農業協同組合中央会、愛知県信用農業協同組合連合会、愛知県経済農業協同組合連合会、愛知県厚生農業協同組合連合会、公益社団法人愛知県園芸振興基金協会、一般社団法人愛知県農協信用保証センター、愛知県農業信用基金協会、一般社団法人愛知県協同興農協会、愛知県米麦振興協会の通常総会が大村愛知県知事、森東海農政局長、愛知県議会議長、川上愛知県農業会議会長等の来賓のもとに盛大に開催され、全て提案した議案が承認されました。

愛知県の平成24年の田畑売買価格等の調査結果が公表されました

本調査は、昭和31年から毎年実施しているもので 昭和25年当時の旧市町村を対象に都市計画法による市街化区域、調整区域の線引きが完了、その線引きが未完了ないし、非指定に区分し、各区域ごとの価格を調査したものです。

本調査の結果、市街化調整区域内の農用地区域内並びに農用地区域以外では、海部地域の中田が6.3%の上昇を示したほかは、中田、中畑とも横ばい又は下降傾向を示しており、県平均で前年比、農用地区域内の中田 3.1%、中畑 2.4%、農用地区域以外の中田 1.4%、中畑 0.6%となっています。地域別に見ると、西三河と知多地域の農用地区域内の中田、中畑がともに大きく下降傾向を示しています。

傾向としては、中田全体では、回答があった170旧市町村のうち下降が22(13%)、141(83%)横ばいで、上昇が7(4%)となっています。

中畑では、162旧市町村のうち、下降が25(15%)、横ばいが130(80%)、上昇が7(4%)となっております。

横ばい、下降の要因としては、田畑ともに「農地の買い手が少ない、または買い控え」や「全体として農業の生産意欲が減退」等となっており、上昇傾向を示した理由は「農業経営の規模拡大意欲が強い」や「ほ場整備・土地改良事業の実施」等となっています。

農地情報管理システム新任者研修会を開催しました

6月7日及び13日に「愛知県白壁庁舎」において、市町村農業委員会の新任者を対象に、農地基本台帳の整備強化、農地制度実施円滑化事業の推進、農地情報管理システムと水土里情報システムとの連携、農地情報管理システムの実際の操作研修会を実施しました。

当日は、ソフトウェア会社の担当者を講師に、農業委員会事務の基本である農地基本台帳の整備の重要性と実際の操作研修を行いました。

また、県土地改良事業団体連合会の村上主幹からは、農地基本台帳等との連携活用を図るため「水土里情報システム」の整備状況等について説明がありました。

農の雇用事業指導者養成研修会を開催しました

6月12日に名古屋市中村区の「ウインク愛知」において、平成25年度第1回募集で採択された31団体の経営者又は研修責任者を対象に農の雇用事業指導者養成研修会を開催しました。

研修は、農の雇用事業の仕組みと事業実施の留意点及び助成金交付申請等の記載方法と留意点について、農業会議の職員から説明しました。

また、労務管理の注意点については、社会保険労務士法人亀井労務管理事務所の三ツ口美恵子社会保険労務士から説明をいただきました。

愛知県耕作放棄地対策協議会の通常総会が開催されました

7月27日に愛知県農林水産部共用会議室において、平成25年度通常総会が開催されました。

板倉会長は、あいさつの中で「日本再興戦略」の中に、農地の利用集積と耕作放棄地の発生防止・解消の加速化が示されており耕作放棄地対策はますます重要となってきたと述べました。

総会では、平成24年度事業報告及び収支決算では、県下13の地域協議会において1,281aの耕作放棄地が再生された旨の報告がありました。また、平成25年度の事業計画及び収支予算、規約改正の提出議案の全てが満場一致で承認されました。

愛知県農林公社の定時社員総会が開催されました

6月26日に名古屋市中区の「KKRホテル名古屋」において、平成25年度定時社員総会が開催されました。

浦井理事長は農林公社の民事再生計画は順調に進んでおり、平成25年度末には農地保有合理化事業からの撤退、平成27年度末には分収林事業及び植木センター管理事業からの撤退、再生債権者への弁済を行った後に解散すると述べられました。

社員総会では、平成24年度事業報告並びに決算及び役員選任の提出議案は全て承認されました。

なお、農林公社では、保有農地の買取農家の公募を行っています。詳細については愛知県農林公社のホームページをご覧ください。<http://www.aichi-nourin.or.jp>

今後の主な行事予定

- 7月 5日 愛知県稲作経営者会議通常総会（中区）
- 7月10日 農業会議監査会（白壁庁舎）
- 7月17日 常任会議員会議（白壁庁舎）
- 8月27日 愛知県農業会議第1回総会（水産会館）
- 9月 4日 農業委員・職員等研修会（稲沢市市民会館）
- 9月10日 農業委員・職員等研修会（知立市文化会館）
- 9月13日 農業委員・職員等研修会（豊川市勤労福祉会館）